

第3通信大隊所属隊員によるコラム

我が家のニューフェース

本部管理中隊

二等陸曹

藤田 一哉

令和五年六月六日に第二子長女が誕生し「知恩(ちおん)」と名付けました。名前は仏教の言葉である「知恩、感恩、報恩」の教えから頂きました。

恩を知り、恩に感謝し、恩に報いる。

人に感謝することの始まりであり良好な人間関係を築き、環境や出来事にも感謝できる人に成長して欲しいと願いを込めています。私が住居を構えた場所は田舎の小さな集落で、雄大な自然と昔ながらのご近所付き合いや自治体活動が色濃く残っていて、皆で子供を見守ってくれます。都会にはない人付き合いの中で、子供たちはどのように成長していくのかとても楽しみです。



今の世の中は情報であふれています。しかし、本当の知識や知恵は経験からしか得られないものだと思えます。

私にない知識や知恵を持った近所のおじいちゃんおばあちゃん、家族のようにかわいがってくれる人たちと関わり、自然の中で遊び、学び、経験を語れる大人になってもらいたいと思います。妻と長男の与喜(よき)、長女の知恩(ちおん)の四人で忙しくも楽しい生活をおくっています。ぜひ子供たちを連れて家族で遊びに来て下さい。



入校を終えて

第一中隊

三等曹陸曹

柳田 佑也

私は二月二四日から約半年の期間において久里浜駐屯地・通信学校で実施された「第四期陸曹暗号通信B課程」教育入校して参りました。

この場をお借りして経験等をお伝えしたいと思えます。

全国の通信科隊員が一堂に集まり教育を受ける中で、同じ通信科ではありますが、部隊の装備や地域の特性・文化が違った環境で育った同期たちとの交流は、非常に良い刺激となり、お互いを高めあえる良い教育環境でした。また、休日となれば神奈川県下という都心へのアクセスに良好な立地、新型コロナウィルス緩和傾向も相まって、同期たちと外出をした際、様々な所へ出向き、多くを語り合いかげがないの思い出を作る事が出来ました。教育を通じて修得すべき技能、勉学に励むことを優先すべき事でありますが、息を抜いて同期等との人脈づくりや交流も重要であると私は感じました。半年の期間を通じて得たものをこれから普及し、部隊精強化へ繋げていくことで還元出来る様にご利用から精進して参ります。

地元紹介

第二中隊

陸士長

松相 佑汰

私の地元、埼玉県を紹介いたします。埼玉県は魅力度ランキング四五位でそんなに良いイメージは持たれていないと思います。そんな埼玉県にも良いところはたくさんあります。まずは、あまり知られていない観光地から紹介いたします。加須市北部に「三県鏡」と呼ばれる栃木県と茨城県と埼玉県の県境が交わり三步で三県を踏めるという面白いスポットがあります。

他にも、「小江戸」と呼ばれる江戸時代を感じさせる町が川越市にあります。都心から三十分程の場所に位置し、レトロな町並みを楽しむことが出来ます。次に、食について紹介します。埼玉県は実は「うどん大国」なのです。その生産量は香川県に次いで第二位を誇ります。そして埼玉県でピュラーな食べ方は「武蔵野うどん」に代表される、醤油味の温かい汁に冷たいうどんをつけて食べる、つけ麺タイプです。かきうどんとは違ったコシのある食感が楽しめます。

他にも、大宮の「大宮ナポリタン」や深谷ねぎを使った「深谷武州煮ぼうとう」や秩父の名物「わらじかつ井」、「くるみそば」等の美味しい名物料理がたくさんあります。

関西からは、遠くてなかなか行く機会はないですが、足を運んだ際には訪れてみてはいかがでしょうか。

